



NEWS LETTER

発行:水資源・環境学会

NEWS LETTER No.82

2021年2月10日

目次

会長より会員の皆様への メッセージ	1
広報委員会より	1
2020年度 冬季研究会のご案内	2
2021年度研究大会につ いて(第1報)	2
2019年度決算案ならび に2020年度予算案報告	3
2020年度総会について	3
編集委員会/学会事務 局からの案内と連絡	4

水資源・環境学会 会員の皆様へ -会長からのメッセージ-

2020年は新型コロナウイルスが世界中に蔓延し、100年前のスペイン風邪以来の事態となりました。水資源・環境学会ではそのあおりを受けて、2020年3月に予定していた冬季研究会、6月に予定していた研究大会、8月に予定していた夏季現地研究会を中止せざるを得なくなりました。学会員の皆様には学会活動の停滞に憂慮されていたと存じます。

コロナ禍はすぐに収まりそうにない様子です。ウイズコロナを前提として学会活動をせざるを得ない状況です。当学会はこれまで対面による研究交流に力を入れてきましたが、今後は適宜オンライン会議システムを活用して、学会活動を進めていくことにいたします。オンラインを通じることによって距離による制約が取り払われ、容易に研究交流に参加することができると考えられます。学会員の皆様の研究会等への積極的な参加を期待します。もちろん、オンラインでの活動だけでなく、対面での活動も可能な形で実施したいと思えます。

オンラインを活用することによって、国際的な交流もある意味で容易になりました。これまでの国際的な研究交流は対面による限られたものでしたが、オンラインを取り入れ国際的な研究交流も今まで以上に展開できると考えています。

感染症のパンデミックは元はと言えば、人間による生命世界を無視した開発の結果です。水資源・環境学会の使命は、生命世界に混乱をもたらさない、水によって循環し健全性を維持している生命環境と人間との関わりについて学問領域にとらわれず議論し、知見を得ることにあります。コロナ禍で学会活動を停滞させることは学会の使命を放棄することになることに繋がりがかねません。初心に帰って、学会活動を進めて行きましょう。

2021年2月1日

水資源・環境学会
会長 土屋 正春

【広報委員会より】

当初は2021年始に発行予定であった本ニューズレター82号ですが、諸般の事情により発行が遅れましたことをお詫び申し上げます。

2020年度 水資源・環境学会 冬季研究会 ご案内 テーマ

「コロナ禍での海洋プラスチック汚染を考える」
-ポスト・コロナ社会での水環境保全への提言に向けて-

日時：2021年3月13日（土）15時00分～17時00分

※Zoomで開催します（要事前申込、定員100名）

コロナ禍をめぐる混乱は、水資源・水環境にも大きな影響を及ぼしています。たとえば、使い捨てマスクなどの「コロナごみ」が大量に海や川に流出していることが世界中で報告され、生態系への影響が危惧されています。市民生活においても、手洗いの励行など、改めて水道の役割が認識されるようになった一方で、感染防止の名目で水道からマイボトルへの給水を取りやめ、ペットボトル入りミネラルウォーターを配布する学校が現れるなど、脱プラスチックの流れに逆行するような動きもみられます。さらには、頻発する水害などの大規模災害時の感染対策も大きな課題となっています。

今回の研究会では、こうした山積する課題の中でも、特に急増しているプラスチックごみに焦点をあて、海や川のいわゆる「コロナごみ」の実態について報告するとともに、プラスチックごみ削減の新しいムーブメントとして国内外で急速に普及している無料給水のプラットフォームの展開について報告いただきます。

この研究会は、参加者のみなさんとの議論を通じてコロナ後の持続可能な水環境の実現に向けた研究および実践上の可能性と課題を提起しようとするものです。

【冬季研究会への参加申し込み方法】※3月6日までにお申し込みください。

下記のGoogleフォームよりお申し込みください。

右のQRコードからもアクセスできます。

<https://forms.gle/Jbi35Mn4XffkPCCh6>



【問い合わせ先】

高橋 卓也 (taka.takuya@gmail.com) 若井 郁次郎 (wakai@due.osaka-sandai.ac.jp)

伊藤 達也 (tito@hosei.ac.jp)

【プログラム】

全体司会：伊藤 達也（法政大学）

15時00分～15時05分：開会挨拶および趣旨説明

小幡 範雄（立命館大学）

15時05分～15時45分：基調講演

原田 禎夫（大阪商業大学）

15時45分～16時00分：基調講演を受けたコメント

マクティア・マリコ

（Social Innovation Japan 共同創始者）

16時00分～16時55分：参加者全員による討議

16時55分～17時00分：閉会挨拶

奥田 進一（拓殖大学）

【2021年度研究大会について】

中止となった2020年度研究大会のテーマである「持続可能な開発目標（SDGs）からみた流域環境保全」を踏襲し、Zoomを用いて開催予定です。研究発表の募集など、詳しくは決まり次第、学会ウェブサイト、メーリングリストなどでお知らせします。

2019年度決算案および2020年度予算案について

収入の部	2019年度決算案				2020年度予算案	
	予算額	決算額	増減	備考	予算案	備考
収入合計	2,698,446	2,633,817	-64,629		645,500	
1 会費	735,000	649,000	-86,000		640,000	
法人会員	60,000	30,000	-30,000	法人会員1口	30,000	法人会員1口
普通会員	675,000	610,000	-65,000	普通会員122口	610,000	普通会員122口
学生会員	0	9,000	9,000	3口（滞納分）	0	
2 販売収入	10,000	11,000	1,000	購読料収入	5,500	2口（消費税分の増加）
3 超過原稿料	0	12,000	12,000		0	
4 その他	1,953,446	1,961,817	8,371	寄付金	0	
支出の部						
支出合計	873,000	764,326	-108,674		650,000	
1 研究事業	30,000	33,230	3,230		50,000	
1.1 会場費	20,000	23,230	3,230		0	
1.2 郵送料	0	0	0		0	
1.3 消耗品	0	0	0		0	
1.4 交通費	10,000	0	-10,000		0	
1.5 その他	0	10,000	10,000		50,000	
2 学会誌事業	621,200	513,180	-108,020		400,000	
2.1 編集費	615,200	507,180	-108,020		400,000	
内1号	307,600	203,580	-104,020		400,000	
内2号	307,600	303,600	-4,000		0	
2.2 郵送料	0	0	0		0	
2.3 謝礼(査読)	6,000	6,000	0		0	
2.4 その他	0	0	0		0	
3 広報事業	133,000	119,184	-13,816		125,000	
3.1 郵送料	24,000	28,675	4,675	NL79,80郵送料	28,000	NL81,82郵送料
3.2 印刷費	24,000	12,230	-11,770	NL79,80印刷費	12,000	NL81印刷費
3.3 委託事業(HP)	80,000	76,700	-3,300	HP更新、サーバ借上げ	80,000	HP更新、サーバ借上げ
3.4 その他	5,000	1,579	-3,421	封筒、用紙等	5,000	封筒、用紙等
4 事務局経費	88,800	98,732	9,932		75,000	
4.1 理事会会場費	20,000	15,000	-5,000	3回開催	5,000	
4.2 郵送料	2,000	1,980	-20		2,000	
4.3 消耗品	0	576	576		0	
4.4 会員管理委託	64,800	66,000	1,200	@¥400×150	66,000	@¥400×150
4.5 その他	2,000	15,176	13,176	表彰状作成	2,000	
当期純利益(収支差額)	1,825,446	1,869,491	44,045		-4,500	
前期繰越資産	729,074	729,074	0		2,598,565	
当期繰越資産	2,554,520	2,598,565	44,045		2,594,065	

【2020年度総会について】

現在、2021年3月13日の冬季研究会にあわせて、2020年度総会を開催する方向で調整しております。冬季研究会同様、Zoomでの開催となります。それに先立ち、会員の皆様には上記の通り、2019年度決算および2020年度予算案を先行してご報告させていただきました。

具体的な総会の開催日時や他の議案などについては、決まり次第、すみやかに学会ウェブサイトなどでお知らせします。

学会誌「水資源・環境研究」の活性化に向けたご案内

編集委員会は、本学会が発行する学会誌『水資源・環境研究』（年2回発行）のより一層の活性化を目指し、会員の方々に学会誌へ投稿頂く原稿について、以下のような説明をさせていただき、より一層の投稿をお願いするものであります。「投稿規程 2. 投稿原稿の種類」によると、本学会誌には、「論文（論説）」、「研究ノート」、「水環境フォーラム」、「書評」および「資料」といった、5種類の原稿があります。編集委員会としましては、会員の皆さんからの積極的な投稿はもちろんのこと、皆さんが大学・高校の教員として、また、NPO、研究所、国、自治体及び企業の一員として関わった研究や議論、さらには大学・高校の教員として、授業の一環で行った調査結果等を報告する場として、本学会誌を幅広く使っていただけるよう希望するものであります。5種類の原稿への投稿論文は以下のような基準を考えています。ぜひ、研究並びに教育の一環として本学会誌を使って頂ければ幸いです。

「論文（論説）」：刷り上がり8ページ（17,600字、400字原稿用紙44枚）以内。

査読付き論文です。編集委員会は査読を専門家に依頼します。その結果を受けて、編集委員会が採否を決定します。必要に応じて、著者に修正を求めることがありますし、掲載を見送ることがあります。編集委員会としましては、会員からの投稿とともに、会員が指導した優秀な修士論文の一部、最優秀な卒業論文を想定して審査を行っています。

「研究ノート」：刷り上がり5ページ（11,000字、400字原稿用紙27.5枚）以内。

査読はありません。しかし、研究ノートという論文の位置づけですので、論文の体裁が取られていないものについては、編集委員会から修正を求めることがありますし、掲載を見送ることもあります。一般的な修士論文の一部、優秀な卒業論文あたりを想定して、対応しています。なお、会員が含まれる研究グループで特集（3～5本を想定）を組んでいただくことも大歓迎です。また、特集論文の中で査読を希望する論文がある場合、「査読付き論文」として対応する制度もあります。

「水環境フォーラム」・「資料」：刷り上がり5ページ（11,000字、400字原稿用紙27.5枚）以内

査読はありません。何か地域に密着した話題、海外事例の紹介や、論文としては整っていないが、研究に関係して述べたいことをまとめたものなどを想定しています。以前、本誌にあった「地域通信」や「水環境最前線」にあたるコーナーですので、お気軽に投稿頂ければ幸いです。大学やNPO、研究所、国、自治体、企業などで盛り上がった議論や自主研究の中間報告などを投稿頂くことも歓迎します。修論、卒論等で論文形式にはならないが、面白いトピック等がある場合、それを投稿して頂くことも歓迎です。授業の一環で行った調査結果等を報告する場として使っていただくと、学会誌が大変充実すると思います。

「書評」：刷り上がり2ページ（4,400字、400字原稿用紙11枚）以内

査読はありません。通常の書評を想定ください。

※なお、各区分において規定ページ数を超える原稿については、1ページにつき6,000円を負担して頂きます。ご理解ください。

原稿募集

水資源・環境学会では学会誌「水資源・環境研究」への投稿を募っております。

「水資源・環境研究」は、年2回、電子ジャーナルとしてJ-STAGE上で発行しており、会員の皆様に原稿を迅速に公開し、原稿の投稿機会を増やすことを目指しております。査読付きの「論文（論説）」の他に、査読なしの「研究ノート」、国内外における地域の話題や時事問題等をテーマにした「水環境フォーラム」、「資料」、および「書評」も受け付けております。

現在、「論文（論説）」は2021年12月発行予定の第34巻2号掲載ぶんとしての募集となり、締め切りは2021年7月31日です。それ以外の締め切りは、2021年4月30日（2021年6月発行予定の第34巻1号）、2021年10月31日（第34巻2号）です。

投稿規定や執筆要領は学会ホームページ（下記URL）にあります。投稿希望の方は原稿送付状をダウンロード・ご記入の上、投稿原稿に添えて下記学会事務局まで電子メールにてご送付下さい。

学会誌の内容をさらに充実させるべく、皆様の積極的な投稿をお待ちしております。

水資源・環境学会 事務局長 仁連 孝昭

（学会事務局メールアドレス）info@jawre.org

（学会ウェブサイト内「学会誌」ページ）<http://jawre.org/publication/index.html>

※投稿規定、執筆要領は上記サイト内に掲載しています。

■ 連絡先に変更はございませんか？

転居などにもなう住所の変更で、学会からの郵便物が返送されて来る場合、登録いただいている

E-mailアドレスがエラーで届かない場合が多数ございます。

所属先、連絡先などに変更がございましたら、下記学会事務局までご連絡下さい。

〒604-0022 京都市中京区室町通御池上る御池之町309番地 京都通信社内

発行：水資源・環境学会

<http://www.jawre.org/>

E-Mail: info@jawre.org